

第15期千代田区生涯学習推進委員会議がスタートしました

令和6年6月27日、第15期生涯学習推進委員会議が発足しました。今期は委員11名で新たに
出発しました。会長には早稲田大学教育・総合科学学術院名誉教授の前田耕司氏、副会長には
国土館大学文学部教授の栗栖淳氏にご就任いただきました。

第15期初号の今回は、委員の皆さまのご紹介を中心にお届けします。

第15期千代田区生涯学習推進委員 任期：令和6年6月～令和8年3月 (敬称略)	
氏名	所属団体等名称
※前田 耕司	早稲田大学教育・総合科学学術院 名誉教授
※栗栖 淳	国土館大学文学部 教授
麻生 徹	昌平評議会コミュニティスクール運営委員会
高畠 純子	千代田区障害者共助会
安田 郁子	千代田区文化芸術協会 副理事長
※庄司 由美子	千代田区スポーツ推進委員協議会
※村木 さをり	千代田区青少年委員会
※本多 秀子	女子学院中学校・高等学校 教諭
※盛谷 樹	千代田区立神田一橋中学校 校長
塩谷 貴則	公募委員
山部 達弘	公募委員
※は社会教育委員兼任	

生涯学習推進委員の役割について

- ◎千代田区生涯学習推進委員会議は、我が区における生涯学習施策の効果的な推進を図るため、平成3年4月に発足した制度です。学識経験者や生涯学習関係団体代表者、区内の学校長、公募の区民から構成され、区に対して意見や提言を行っています。
- ◎委員の任期は令和8年3月までの2年間で、全10回程度(年間5回程度)の会議を予定しています。今期のテーマについて広く深く検討していきます。
- ◎前期第14期生涯学習推進委員会議(令和4年5月～令和6年3月)では「千代田区の生涯学習を踏まえた部活動の地域移行・連携について」、「千代田区の特性を踏まえた生涯学習(区民講座)のあり方～ちよだ生涯学習カレッジについて～」の二つをテーマに議論を重ね、区に対して提言を行いました。

委員自己紹介

【前田会長】

11期から委員をさせていただいています。会長は運営に関わっていますので、非常に責任が重いと痛感しております。委員の皆様のご協力を仰ぎながら円滑に運営を進めたいと思います。最近居住地で地域デビューしましたが、千代田区での世代間交流を生涯学習としてどうつなげ、そのための仕掛けをどうつくっていくのが非常に大事な課題だと思っています。

【麻生委員】

昌平評議会コミュニティスクール運営委員会から参りました。秋葉原の昌平小学校を使ったコミュニティスクールの集まりです。

毎年夏に昌平音楽祭やスポーツの大会を開いており、私も音楽祭を担当しているうちに、高齢で元気に歌っている人を見ていて、これが生涯学習の1つなのかなと感じ、私もその流れで、今年から合唱団に入りました。これからいろいろなことを学びたいと思います。

【本多委員】

女子学院中学校・高等学校の本多と申します。昨年度までの武蔵野大学附属千代田高等学院の岡田先生の後を継ぐ形です。女子学院は、長く千代田区にございまして、いろいろな地域から生徒が通ってまいりますけれども、やはりこの地域柄というのでしょうか。通いやすい場所ということでお来しております。

【塩谷委員】

千代田区立和泉小学校元PTA会長の塩谷です。神田佐久間町4丁目町会の副町会長もしております。うちの町会にもとは青年部があり一人でやっていたのですが、マンションが建つようになり、10年かけて25名増やしました。今では連合の町会内でも大きな勢力となり、そういったところもあって町会が生涯学習に関係するところのことを一緒に議論したいと思います。



【栗栖副会長】

前期、生涯学習推進委員のこの場を担当させていただきました。委員の皆様のお力をお借りしつつ、少しずつ千代田区のことを知りつつ、皆様方と一緒に考えていきたいと思っています。



【高島委員】

千代田区の障害者共助会から参りました、去年の高橋さんから受け継ぎまして、初めてなので、皆様とこれから一緒に勉強させていただきたいと思っています。

【庄司委員】

千代田区スポーツ推進委員協議会から参りました。千代田区の区民の方々のスポーツを主に補助、ケアしたりしています。最近ですと、ファミリーバレーボール大会がありまして、皆さんのお手伝いや、大きなイベントですと、区民の体育大会、運動会にも従事しています。

【盛谷委員】

神田一橋中学校校長の盛谷と申します。区立校園長会を代表して参加しております。学校教育を担う一員として、生涯教育とか、生涯学習に少しでも力を使わせていただければと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

【山部委員】

千代田区に住み始めて7年になります。ちよだ生涯学習カレッジに入ってから、千代田区に住む先輩たちと知り合いになり、一緒にまち歩きの企画や、動画を撮って配信など、住んでいる人と力を合わせて何か面白いことをやろうみたいなことをやっています。それも1つの生涯学習になるのかなというところで、興味を持って、この会に参加させていただくことにしました。

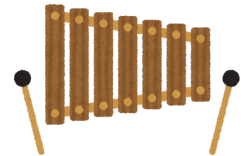
今期のテーマ『千代田区における住民交流の促進に生涯学習が果たす役割』

テーマに沿って以下の題材を本会議に提供し、議論を深めてまいります。

例)

- 地域の後継者不足の解消のために、生涯学習が果たす役割
- 千代田の未来を紡ぐ居住年数の長い区民(主にファミリー・高齢者層)と居住年数の短い区民(主に单身・若年層)の世代間交流促進に資する生涯学習が果たす役割
- 子ども、若者、ファミリー、高齢者、障害者、在勤・在学者など、千代田区に住み、働き、学び、集うすべての人々が交流するために、生涯学習が果たす役割

本日は事務局より資料説明のあと、意見交換を行いました。



<委員による意見交換>

- コミュニティスクール運営委員会の流れで合唱団に誘われ「ああ、ちょっと面白そうだからやってみようかな」と。全くの素人で参加し、受け入れている方々も合唱をやったことがなくても全然いいよという形で、まさしく住民交流の中で1つの学習に進められた特殊な感じです。多分やりたい人はもっというて、カラオケ行ったときに、「この人、ちょっと合唱の歌い方だな」と。実は昔は合唱をやっていたかもしれないけれど、今はやっていない人たちが入ってこられる環境ができれば、その人にとっての生涯学習がまた始まるかもしれない。この会議で議論が進められればと思う。
- お友達から誘われて生涯学習館でフラメンコをしています。始める取っかかりが、区民全員に届いていないのではないかと、区民に知れ渡るようなPRが大事ではないか。
- 千代田区というのは、本当にいい意味で密。都会なのに。居酒屋に例えると常連さんはすごく仲がよいが新規のお客さんが入って来づらい雰囲気。そういうところを何かいい意味で崩せるような役割を私たちが担えればよいのではないかと。
- 学校とまちとの関係、かかわりを学んでいきたい。
- 町会に入るメリットや町会費に見合うだけの取組など基になるデータがあるとよい。
- マンションの建設で、既存住民とのトラブルは聞くことはあるが、うちの町会は幸いそれが全くなく、非常に融和的。新しく建った分譲マンションの方々からの提案で、防災訓練をやりたいと。マンションだけでは小規模になるので町会と一緒にやれないかと打診があり、せっかくだから楽しくストレスない防災訓練、炊き出し訓練か何かでおいしいものを食べるなどを提案し、交流が非常に順調にしているかなとは思っている。
- 大きなテーマが千代田区における住民交流の促進ですが、そうはいっても全体ではなくて、地域とか町会単位で考えるのかなと思う。そのためには各町会の会長さんから、現状の課題、区として進めてほしい話をもらうとか、逆に新しい方たちから、町会に入りづらい原因は何かなど、リサーチがあればより議論も焦点化しやすいのではないかと。
- 住民交流に対して非常に意識の高い層がいる一方、そうでない層もいる。外国人のデータが推移的にどうなっているのか、少数派の人、昼間人口と夜間人口の位置づけ、視点も大事ではないだろうか。





「生涯学習推進にかかわっての一つの動き」

栗栖 淳

(国士舘大学文学部教授)

2024 年はオリンピックイヤー、華やかな祭典のなかにも、考えさせられることが多々あります。戦争の存在という現状、選手の心の健康を守ることの大切さ、あるいは障害がある人・健常者を問わない意識の在り様、等などです。いろいろな様相で共生社会を実現させることが課題となっており、地球市民であるという認識のもと、一人ひとりにおいて、その重要性の理解や価値観の共有を育成し、共生社会を現実のものとするのが求められています。

2006 年に国連総会において満場一致で採択された「障害者の権利に関する条約」(「障害者権利条約」)では、障害を、障害がある個人の心身の機能障害にとどめず、社会的障害との相互作用から生じるとする社会モデルによって、合理的配慮を提供することを進めるとしています。こうした動きを受けて、日本では、2013 年に「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」(「障害者差別解消法」)が公布、2016 年より施行され、障害者に対する不当な差別的取り扱いの禁止にかかわって、国・地方公共団体等における合理的配慮の提供が法的義務に、また私立大学など民間事業者においては努力義務となりました。この障害者差別解消法は 2021 年に改正、2024 年 4 月より施行されるなか、私立大学においても合理的配慮の提供が、法的義務として位置づけられるに至りました。私たち一人ひとりが、共生社会の実現を現実のものとするべく動くべきことを実感しています。「不当」「合理的」「配慮」「提供」の意味など、問うべき課題も多々残されていますが、

千代田区の生涯学習についても、“推進”に向けて動きたいと思います。

編集後記(事務局より)

第 15 期生涯学習推進委員会議がスタートしました。2年前、第 14 期が始まった頃はまだコロナ禍で、机をなるべく離して会場づくりをしていました。その頃と比較し、委員の皆さまの距離の近さ、話しやすさをあらためて嬉しく感じた第 1 回会議でした。このエポックでは、会議の経過報告、資料やお知らせを掲載していく予定です。お忙しいなか最初のリレー随筆をお引き受けくださいました栗栖副会長に心から感謝いたします。これからの2年間どうぞよろしくお願い申し上げます。 次回(第2回会議)は 9 月を予定しています。